



平成31年2月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

平成31年1月10日

上場会社名 株式会社乃村工藝社 上場取引所 東
 コード番号 9716 URL <http://www.nomurakougei.co.jp/ir/>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 榎本 修次
 問合せ先責任者 (役職名) 常務取締役コーポレート本部長 (氏名) 中川 雅寛 (TEL) 03 (5962) 1119
 四半期報告書提出予定日 平成31年1月11日 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無：有
 四半期決算説明会開催の有無：無

(百万円未満切捨て)

1. 平成31年2月期第3四半期の連結業績（平成30年3月1日～平成30年11月30日）

(1) 連結経営成績（累計）

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
31年2月期第3四半期	80,998	4.0	5,838	11.6	5,989	10.9	4,460	21.4
30年2月期第3四半期	77,903	△5.0	5,230	△11.0	5,401	△10.7	3,674	△7.6

(注) 包括利益 31年2月期第3四半期 4,435百万円 (11.4%) 30年2月期第3四半期 3,981百万円 (△2.5%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
31年2月期第3四半期	80.18	—
30年2月期第3四半期	66.05	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
31年2月期第3四半期	84,682	41,273	48.7
30年2月期	76,443	39,344	51.4

(参考) 自己資本 31年2月期第3四半期 41,253百万円 30年2月期 39,329百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
30年2月期	—	0.00	—	45.00	45.00
31年2月期	—	0.00	—	—	—
31年2月期（予想）	—	—	—	47.00	47.00

(注) 直前に公表されている配当予想からの修正の有無：無

3. 平成31年2月期の連結業績予想（平成30年3月1日～平成31年2月28日）

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	120,000	3.6	8,300	1.6	8,500	1.5	5,900	4.6	106.05

(注) 直前に公表されている業績予想からの修正の有無：無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）：無
新規 一社（社名）、除外 一社（社名）

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：有

（注）詳細は、添付資料P.9「2. 四半期連結財務諸表及び主な注記（3）四半期連結財務諸表に関する注記事項（四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用）」をご覧ください。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	31年2月期3Q	59,948,294株	30年2月期	59,948,294株
② 期末自己株式数	31年2月期3Q	4,316,371株	30年2月期	4,316,211株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	31年2月期3Q	55,632,050株	30年2月期3Q	55,632,122株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報および合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件および業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料P.4「1. 当四半期決算に関する定性的情報（3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	4
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	4
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	5
(1) 四半期連結貸借対照表	5
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	7
四半期連結損益計算書	
第3四半期連結累計期間	7
四半期連結包括利益計算書	
第3四半期連結累計期間	8
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	9
(継続企業の前提に関する注記)	9
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	9
(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)	9
(セグメント情報等)	9
3. 補足情報	10
(1) セグメント別(ディスプレイ事業は市場分野別)の生産高、受注および売上高の状況	10
(2) セグメント別(ディスプレイ事業は制作品別)の生産高、受注および売上高の状況	11

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

(単位：百万円)

	前第3四半期 連結累計期間	当第3四半期 連結累計期間	増減額	増減率 (%)
売上高	77,903	80,998	3,095	4.0
営業利益	5,230	5,838	607	11.6
経常利益	5,401	5,989	587	10.9
親会社株主に帰属する 四半期純利益	3,674	4,460	786	21.4

当第3四半期連結累計期間（平成30年3月1日～平成30年11月30日）のわが国経済は、雇用・所得環境の改善が続くなかで、緩やかな回復基調で推移いたしました。一方で、米国の通商政策により懸念される貿易摩擦の影響など、先行きは依然として不透明な状況が続いております。

乃村工藝社グループを取り巻く環境におきましては、企業収益の改善などを背景に設備投資はゆるやかに増加しており、引き続き堅調に推移いたしました。

このような状況の中、当社グループは、エンドユーザーの視点に立ってお客様の事業繁栄を実現する「プロスペリティ・パートナー」への進化の追求に向けて、中期経営計画に則り、時代の変化の中で生まれる新たなニーズをとらえたサービスの提供を目指すとともに、少子高齢化・人口減少の影響と消費者の変化を積極的契機ととらえ、インバウンド、地域創生等のテーマについて、顧客の開発と深耕、プロジェクト開発を推進してまいりました。

以上の結果、当第3四半期連結累計期間の売上高は809億98百万円（前年同期比4.0%増）となりました。

利益面におきましては、売上高の増加に加え、原価低減への取り組みにつとめることにより、営業利益は58億38百万円（前年同期比11.6%増）、経常利益は59億89百万円（前年同期比10.9%増）となりました。

また、特別利益として、所有する不動産の売却にともなう固定資産売却益を計上したことなどにより、親会社株主に帰属する四半期純利益は44億60百万円（前年同期比21.4%増）となりました。

セグメントの状況は、次のとおりであります。

①ディスプレイ事業

大型施設の出店が一段落した商業施設分野（専門店市場、複合商業施設市場）の売上が減少しましたが、歴史博物館、自然史博物館などを手掛けた博物館・美術館市場、ホテルの新装改装、テーマパークの装飾、環境演出を手掛けた余暇施設市場、オフィスの需要が引き続き旺盛なその他市場などが前年同期を上回ることとなりました。

その結果、売上高は792億66百万円（前年同期比4.6%増）、営業利益は57億92百万円（前年同期比13.8%増）となりました。

（単位：百万円）

概 要		売 上 高		増減額	増減率 (%)
市場分野名	当期主要プロジェクト	前第3四半期 連結累計期間	当第3四半期 連結累計期間		
専門店市場 (物販店、飲食店、サービス業態店等)	通信サービスやインポートブランド、アパレル関連の店舗内装制作等	27,985	27,727	△257	△0.9
百貨店・量販店市場	首都圏や関西圏における百貨店内の環境整備工事等	3,902	4,329	426	10.9
複合商業施設市場 (ショッピングセンター等)	首都圏や関西圏の複合商業施設における環境整備工事等	10,293	8,875	△1,417	△13.8
広報・販売促進市場 (企業PR施設、ショールーム、セールスプロモーション、CI等)	電機や飲料、住宅設備メーカーの展示会、ショールームの展示制作等	13,165	13,167	1	0.0
博物館・美術館市場 (博物館、文化施設、美術館等)	文化や歴史に関する施設の展示制作、指定管理者制度 ^(注) にもとづく施設の管理・運営等	5,480	6,410	930	17.0
余暇施設市場 (テーマパーク、ホテル・リゾート施設、アミューズメント施設、エンターテイメント施設、動物園、水族館等)	ホテルの内装や大型テーマパークの装飾等	5,403	6,308	904	16.7
博覧会・イベント市場 (博覧会、見本市、文化イベント等)	行政や公共機関等が主催するイベント等	338	460	122	36.2
その他市場 (上記以外の市場に係るもの) (オフィス、プライダル施設、サイン、モニュメント等)	オフィスや保育園、空港関連施設の内装制作等	9,180	11,988	2,807	30.6
ディスプレイ事業		75,748	79,266	3,518	4.6

(注) 指定管理者制度：地方公共団体やその外郭団体に限定していた公の施設の管理・運営を、法人その他の団体に包括的に代行させることのできる制度。平成15年9月より施行されています。

②飲食・物販事業

美術館や科学館などのミュージアムショップや商業施設における飲食店・物販店の運営業務等を手掛けましたが、店舗閉鎖やイベントの減少などにより、売上高は17億31百万円（前年同期比19.6%減）、営業利益は93百万円（前年同期比49.6%減）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

当第3四半期連結会計期間末の総資産は846億82百万円(前連結会計年度末比82億38百万円増)、負債は434億9百万円(前連結会計年度末比63億9百万円増)、純資産は412億73百万円(前連結会計年度末比19億29百万円増)となりました。

総資産は、現金及び預金とたな卸資産が増加したことにより増加しております。

負債は、前受金が増加したことにより増加しております。

純資産は、配当金の支払いがありましたが、親会社株主に帰属する四半期純利益の計上により増加しております。

この結果、自己資本比率は前連結会計年度末の51.4%から48.7%となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

平成30年4月12日発表の通期の連結業績予想に変更はありません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位:百万円)

	前連結会計年度 (平成30年2月28日)	当第3四半期連結会計期間 (平成30年11月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	25,741	32,337
受取手形及び売掛金	26,777	21,604
たな卸資産	6,359	13,640
繰延税金資産	1,206	1,236
その他	568	1,750
貸倒引当金	△19	△23
流動資産合計	60,635	70,546
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	9,597	6,256
土地	5,245	3,743
その他	2,321	2,331
減価償却累計額	△7,566	△4,424
有形固定資産合計	9,597	7,906
無形固定資産	1,035	922
投資その他の資産		
投資有価証券	3,884	3,942
その他	1,580	1,675
貸倒引当金	△288	△310
投資その他の資産合計	5,175	5,307
固定資産合計	15,808	14,136
資産合計	76,443	84,682

(単位:百万円)

	前連結会計年度 (平成30年2月28日)	当第3四半期連結会計期間 (平成30年11月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	21,352	22,634
未払法人税等	1,179	1,357
前受金	3,168	8,671
賞与引当金	1,519	1,031
完成工事補償引当金	55	60
工事損失引当金	51	346
事業構造改善引当金	92	57
その他	3,773	3,374
流動負債合計	31,192	37,533
固定負債		
退職給付に係る負債	4,802	4,780
その他の引当金	154	192
その他	950	903
固定負債合計	5,907	5,876
負債合計	37,099	43,409
純資産の部		
株主資本		
資本金	6,497	6,497
資本剰余金	6,861	6,861
利益剰余金	25,767	28,140
自己株式	△1,091	△1,092
株主資本合計	38,034	40,407
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	1,039	996
土地再評価差額金	415	—
為替換算調整勘定	156	113
退職給付に係る調整累計額	△316	△263
その他の包括利益累計額合計	1,294	846
非支配株主持分	14	20
純資産合計	39,344	41,273
負債純資産合計	76,443	84,682

（2）四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
 （四半期連結損益計算書）
 （第3四半期連結累計期間）

（単位：百万円）

	前第3四半期連結累計期間 （自平成29年3月1日 至平成29年11月30日）	当第3四半期連結累計期間 （自平成30年3月1日 至平成30年11月30日）
売上高	77,903	80,998
売上原価	62,328	63,788
売上総利益	15,574	17,209
販売費及び一般管理費	10,343	11,371
営業利益	5,230	5,838
営業外収益		
受取利息	5	7
受取配当金	26	37
仕入割引	66	65
受取保険金	56	—
その他	29	41
営業外収益合計	184	152
営業外費用		
支払利息	2	0
為替差損	6	—
その他	3	0
営業外費用合計	13	1
経常利益	5,401	5,989
特別利益		
固定資産売却益	0	644
関係会社株式交換益	14	—
特別利益合計	15	644
特別損失		
固定資産除売却損	33	8
減損損失	—	39
投資有価証券評価損	2	—
ゴルフ会員権評価損	5	26
事業構造改善費用	437	—
特別損失合計	477	75
税金等調整前四半期純利益	4,939	6,558
法人税等	1,256	2,089
四半期純利益	3,683	4,468
非支配株主に帰属する四半期純利益	9	7
親会社株主に帰属する四半期純利益	3,674	4,460

(四半期連結包括利益計算書)
(第3四半期連結累計期間)

(単位:百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成29年3月1日 至平成29年11月30日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成30年3月1日 至平成30年11月30日)
四半期純利益	3,683	4,468
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	211	△43
為替換算調整勘定	13	△42
退職給付に係る調整額	71	52
その他の包括利益合計	297	△33
四半期包括利益	3,981	4,435
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	3,972	4,427
非支配株主に係る四半期包括利益	9	7

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)

税金費用の計算

税金費用については、当第3四半期連結累計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第3四半期連結累計期間(自 平成29年3月1日 至 平成29年11月30日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：百万円)

	報告セグメント			調整額 (注1)	四半期連結 損益計算書計上額 (注2)
	ディスプレイ 事業	飲食・物販 事業	合計		
売上高					
外部顧客への売上高	75,748	2,154	77,903	—	77,903
セグメント間の内部 売上高又は振替高	4	14	18	△18	—
計	75,752	2,169	77,921	△18	77,903
セグメント利益	5,088	186	5,274	△43	5,230

(注) 1 セグメント利益の調整額△43百万円の主なものは、提出会社の管理部門に係る減価償却費であります。

2 セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整をおこなっております。

II 当第3四半期連結累計期間(自 平成30年3月1日 至 平成30年11月30日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：百万円)

	報告セグメント			調整額 (注1)	四半期連結 損益計算書計上額 (注2)
	ディスプレイ 事業	飲食・物販 事業	合計		
売上高					
外部顧客への売上高	79,266	1,731	80,998	—	80,998
セグメント間の内部 売上高又は振替高	14	18	33	△33	—
計	79,281	1,750	81,031	△33	80,998
セグメント利益	5,792	93	5,886	△48	5,838

(注) 1 セグメント利益の調整額△48百万円の主なものは、提出会社の管理部門に係る減価償却費であります。

2 セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整をおこなっております。

3. 補足情報

(1) セグメント別(ディスプレイ事業は市場分野別)の生産高、受注および売上高の状況

①生産高の状況

セグメントの名称	前第3四半期連結累計期間	当第3四半期連結累計期間
	生産高(百万円)	生産高(百万円)
(ディスプレイ事業)		
専門店市場	28,922	32,272
百貨店・量販店市場	4,757	4,345
複合商業施設市場	10,391	9,219
広報・販売促進市場	14,162	13,813
博物館・美術館市場	5,832	6,361
余暇施設市場	5,709	7,529
博覧会・イベント市場	397	517
その他市場	10,542	14,214
ディスプレイ事業 小計	80,715	88,272
(飲食・物販事業)	—	—
合計	80,715	88,272

- (注) 1 セグメント間の取引については、相殺消去しております。
 2 生産高の金額は販売価格によっております。
 3 飲食・物販事業は生産概念が異なるため、記載しておりません。

②期中受注高および受注残高の状況

セグメントの名称	前第3四半期連結累計期間		当第3四半期連結累計期間	
	受注高(百万円)	受注残高(百万円)	受注高(百万円)	受注残高(百万円)
(ディスプレイ事業)				
専門店市場	27,009	8,745	33,712	11,815
百貨店・量販店市場	4,982	2,014	3,709	917
複合商業施設市場	8,044	4,203	14,115	8,722
広報・販売促進市場	17,265	7,004	13,987	5,554
博物館・美術館市場	9,135	9,383	7,917	8,681
余暇施設市場	7,361	5,083	13,046	13,554
博覧会・イベント市場	427	326	696	325
その他市場	9,982	6,882	28,438	21,918
ディスプレイ事業 小計	84,208	43,644	115,624	71,490
(飲食・物販事業)	—	—	—	—
合計	84,208	43,644	115,624	71,490

- (注) 1 セグメント間の取引については、相殺消去しております。
 2 飲食・物販事業は受注概念が異なるため、記載しておりません。

③売上高の状況

セグメントの名称	前第3四半期連結累計期間	当第3四半期連結累計期間
	売上高(百万円)	売上高(百万円)
(ディスプレイ事業)		
専門店市場	27,985	27,727
百貨店・量販店市場	3,902	4,329
複合商業施設市場	10,293	8,875
広報・販売促進市場	13,165	13,167
博物館・美術館市場	5,480	6,410
余暇施設市場	5,403	6,308
博覧会・イベント市場	338	460
その他市場	9,180	11,988
ディスプレイ事業 小計	75,748	79,266
(飲食・物販事業)	2,154	1,731
合計	77,903	80,998

- (注) 1 セグメント間の取引については、相殺消去しております。
 2 売上高総額に対する割合が10%以上となる相手先はありません。

(2) セグメント別(ディスプレイ事業は制作品別)の生産高、受注および売上高の状況

①生産高の状況

セグメントの名称	前第3四半期連結累計期間	当第3四半期連結累計期間
	生産高(百万円)	生産高(百万円)
(ディスプレイ事業)		
内装制作	34,272	46,995
展示制作	20,929	21,746
環境演出制作	4,005	3,870
販促品制作	535	471
企画・設計・監理	6,559	7,248
その他	14,411	7,939
ディスプレイ事業 小計	80,715	88,272
(飲食・物販事業)	—	—
合計	80,715	88,272

- (注) 1 セグメント間の取引については、相殺消去しております。
 2 生産高の金額は販売価格によっております。
 3 飲食・物販事業は生産概念が異なるため、記載しておりません。

②期中受注高および受注残高の状況

セグメントの名称	前第3四半期連結累計期間		当第3四半期連結累計期間	
	受注高 (百万円)	受注残高 (百万円)	受注高 (百万円)	受注残高 (百万円)
(ディスプレイ事業)				
内装制作	33,846	16,709	66,864	39,250
展示制作	26,983	15,918	24,652	17,482
環境演出制作	3,970	1,511	4,942	2,271
販促品制作	484	123	436	77
企画・設計・監理	6,616	5,606	8,225	7,033
その他	12,306	3,774	10,503	5,375
ディスプレイ事業 小計	84,208	43,644	115,624	71,490
(飲食・物販事業)	—	—	—	—
合計	84,208	43,644	115,624	71,490

- (注) 1 セグメント間の取引については、相殺消去しております。
 2 飲食・物販事業は受注概念が異なるため、記載しておりません。

③売上高の状況

セグメントの名称	前第3四半期連結累計期間	当第3四半期連結累計期間
	売上高 (百万円)	売上高 (百万円)
(ディスプレイ事業)		
内装制作	33,692	41,219
展示制作	19,138	20,308
環境演出制作	3,851	3,635
販促品制作	569	456
企画・設計・監理	5,683	6,142
その他	12,812	7,504
ディスプレイ事業 小計	75,748	79,266
(飲食・物販事業)	2,154	1,731
合計	77,903	80,998

- (注) 1 セグメント間の取引については、相殺消去しております。
 2 売上高総額に対する割合が10%以上となる相手先はありません。